

郷原漆器

絵付け体験



郷原漆器にオリジナルの絵を描くことができる絵付け体験。
貴重な漆器に触れて、オリジナルの作品を作りましょう。

2026年

5月 10日(日)

6月 14日(日)

7月 12日(日)

8月 9日(日)

9月 13日(日)

10月 11日(日)

11月 8日(日)

— 蒜山の郷原漆器 —

江戸時代には年間40万点が生産されていた郷原漆器は、蒜山に自生するヤマグリを生木のまま輪切りにして形成し、林から採取した漆で塗り上げるという約400年以上続いてきた匠の技。一度は途絶えましたが2000年代に復活。現在はアメリカ出身の木工作家、ディロンク・デービッドさんが「日本の文化を継承したい」との思いから、郷原漆器の継承者として日々熱心に取り組んでいます。

絵付け体験料金

1,800円

+漆器代：2,500円～8,000円

(当日現金払い、またはWEB決済)

漆器代

(申込み項目/オプション)

※漆器を現地で選びたい方はオプションを選ばず「絵付け体験費」のみでお申込みください。漆器代は現地で現金のみのお支払いです。

- ・血漆器 / 2,500円
- ・郷原漆器おちょこ / 3,000円
- ・郷原漆器小鉢 / 4,000円
- ・郷原漆器めし椀 / 7,000円
- ・郷原漆器お椀小 / 6,500円
- ・郷原漆器雑煮椀 / 8,000円

- 最少催行人数 / 1名
- 定員 / 10名
- 申込締切 / 2日前

詳細・申込みはこちら

真庭観光WEB

www.maniwa.or.jp



行程

■ 集合時間 / 10:00 ■ 場所 / 郷原漆器の館
(岡山県真庭市蒜山上福田425 ※駐車場あり)

■ 所要時間 / 約2時間

- ・絵付けした漆器は、箱に固定して当日お持ち帰りできます。
- ・漆が手につかなくなるまで乾くのに2週間、飲食用に完全に乾くまで3ヵ月ほどかかります。



— 注意 —

- ※漆(うるし)によるかぶれのリスクがあります。
- ※衣服が汚れる恐れがございます。汚れても良い服や、エプロンをご持参ください。(腕抜き・手袋は貸し出しいたします)